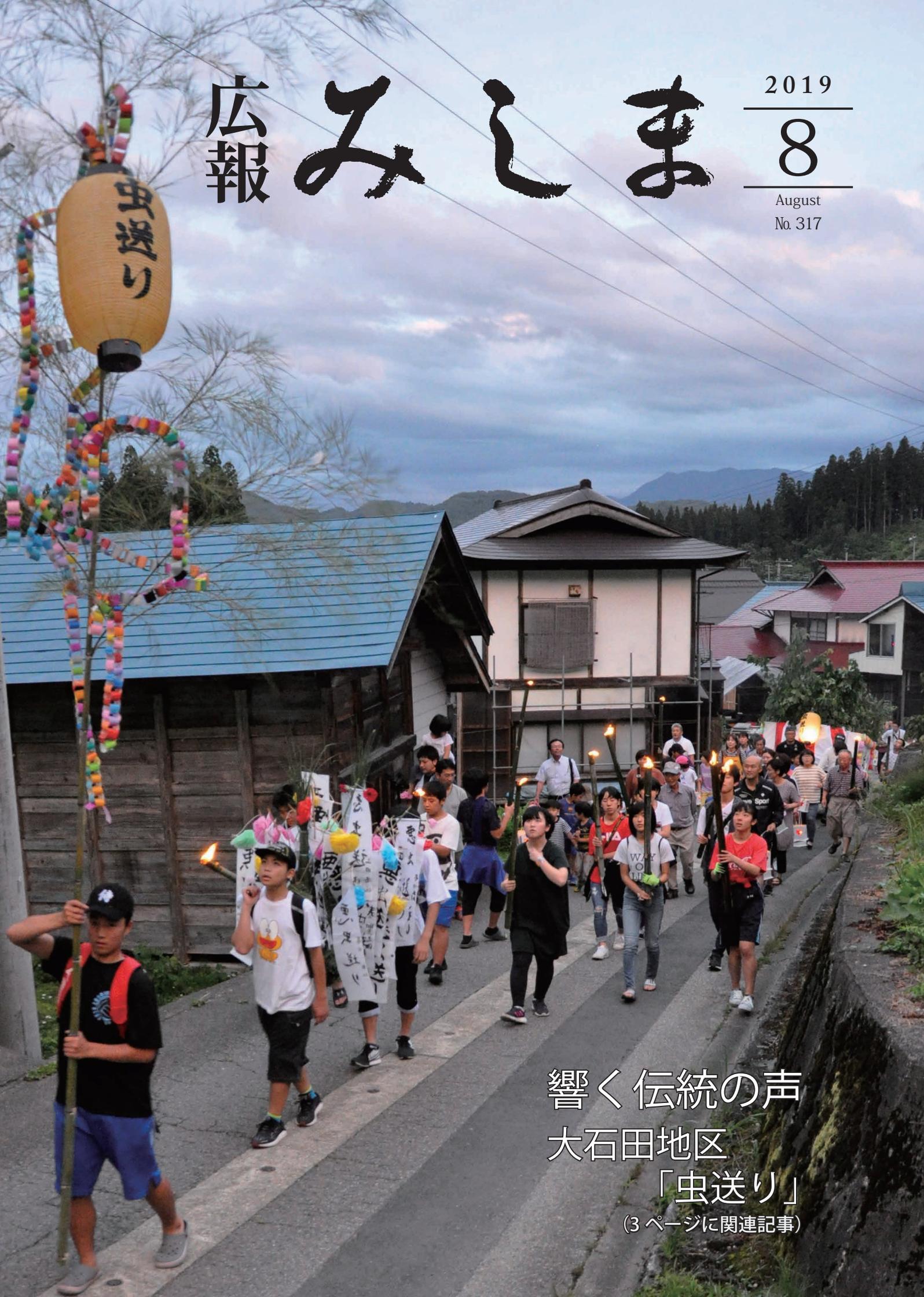


広報みしま

2019

8

August
No. 317



響く伝統の声
大石田地区
「虫送り」
(3 ページに関連記事)



編み板にカヤを乗せ編み込んでいく



担ぎ棒を通し形を整える



上部に「つのかくし」を作り虫かごが完成

大石田地区の年中行事 「虫送り」

年中行事「虫送り」は7月13日、大石田地区で行われました。この行事は農作物に害のある虫を追い払い、その年の豊作を願うものです。地区の子ども達も代々継承して行っていました。子どもが少なくなった近年は、他の地区の子ども達や保護者の方々も参加しています。

当日は地区の壮年倶楽部の皆さんが中心となり、朝から準備が行われました。虫かご作りは本来、メドハギと呼ばれる植物を使いますが、ここ数年メドハギが採取できなくなっており、カヤで代用し作成しました。長さを揃えたカヤを編み板という専用の道具を使い、丁寧に編み込んでいきます。

午後7時になると地区や他の



最後に道具を全て燃やし行事を終えた

地区の子ども達も提灯や松明を手に行列を作り、地区内を練り歩きました。集落の外れまで歩き、最後に提灯や虫かごを燃やし、虫送りが終了しました。

虫送りは、地域の絆を守って、いくうえで非常に大切な行事です。一つの行事を成し遂げることで地域が一つにまとまります。大石田地区の皆さんが大切に受け継いできた虫送り、これからも皆さんの力を合わせ守っていきましょう。

第72回福島県総合体育大会県民スポーツ両沼大会



1

第72回福島県総合体育大会県民スポーツ両沼大会は7月7日、柳津町を会場に開催されました。開会式において、家庭バレーボールチーム「みしまパープルレディース」が当大会における過去の優秀な成績が評価され、両沼地区体育協会連合会の優良団体として表彰されました。

大会は、6種目の団体戦に、7町村から39チームが参加し、熱戦を繰り広げました。当町のチームは、壮年ソフトボール、家庭バレーボール、卓球の三種目に参加しました。いずれの種目も入賞とはなりませんでしたが、選手の皆さんは日頃の練習の成果を発揮し、はつらつとプレーしていました。

- ① 壮年ソフトボールは柳津町と対戦。惜しくも6対7で敗れました。【写真】力投する飯塚英人さん(西方)
- ② みしまパープルレディースは、予選リーグ1勝1敗で決勝リーグへの進出はなりませんでしたが、息の合った連携を見せた渡部政司さん(荒屋敷)と布川加菜さん(宮下)



2



3



立志証書を授与された三島中2年生の皆さん(写真左から) 星明音里さん(西方)、二瓶教香さん(西方)、菅家大貴さん(川井) 五十嵐望さん(大谷)、飯塚真林さん(西方)

「大きな志」を胸に未来へ向かって

令和元年度 三島中学校立志式

令和元年度三島中学校立志式は7月12日、交流センター山びこにおいて挙行され、三島中2学年5名が立志証書を授与されました。生徒たちは、立志証書を授与されると一人ひとり立志の言葉を述べ、将来へ向けた決意を新たにしました。

その後、関根宏房校長より「皆さんはこれから、いろいろな技術や知識を習得し大きく花開くことでしょう。その時、皆さんの根っこは、この三島町にあります。この地で生まれ育ったからこそわかる町の良さ、文化、自然を



誓いの言葉を述べる菅家大貴さん

損なうことなく、習得した知識、先端技術を駆使し、さらに三島町を発展させるアイデアを考えてほしいと思います」と式辞を述べました。

また、2年生を代表し菅家大貴さんが「立志に伴い、私たち5名は集中して物事に取り組もう、という誓いを立てました。その実現のために、最初からの切り替えをしっかりとする・最初から諦めない・苦手な事でも頑張りぬく・3つの目標を達成できるように5人で協力し努力していきます」と誓いの言葉を述べました。



自ら作成した桐の額に入った証書が授与されました

空き家コラム

どうする!?
お仏壇などのご供養処分

空き家所有者の方からご相談をお受けする中で、仏壇の整理や家財処分ができていないということをよくお伺いします。空き家を利活用される場合、家財は入居希望者との交渉次第で引き渡すこともできますが、お仏壇や神棚は事前に所有者側で整理しておく必要がありますので、今回はお仏壇などのご供養処分についてお伝えいたします。

○お仏壇などの整理

- ・ご位牌のお名前を過去帳に移し、住職さんにご位牌、仏壇、遺影の魂抜き（閉眼供養）をしてもらう。
- ・魂抜き後のお仏壇は、粗大ごみとして処分して差し支えない。（作り付けの場合は、板を打ち付けるなどして見えなくするとよい。）

○改葬手続き

- ・新しいお墓の受け入れ先より許可証を発行してもらい、役場町民課で改葬手続きをする。
- ・住職さんに墓石の魂抜きをしてもらう。
- ・お墓の解体、撤去、処分を業者に依頼する。
- ・墓石の周りの土を新しいお墓に持っていく。



※整理の仕方は宗派によって詳細は変わりますので、以上をご参考に、菩提寺のご住職さんにご相談ください。
※神棚に関してはお仏壇のように決まったやり方があるわけではないようです。三島町ではサイノカミがありますので、その際に神棚のものを燃すことも一つかと思えます。

お盆でご家族の方が集まるこの時期に、今後の自宅のあり方と併せてお話してみたいはいかがでしょうか？
町には、空き家の家財やお仏壇の整理などの相談にのってくださる団体があります。お取次ぎできますので、お悩みの方はお気軽に役場までご相談ください。

地域政策課地方創生推進係 ☎(48) 5533

移住者インタビュー

三島町には様々な想いを持って移住された方がたくさんいらっしゃいます。インタビューを通して、空き家の利活用や移住定住のきっかけ、町の新たな魅力発見につながればと思います。移住者インタビューを連載します。

その3 いわぶちりょうた
岩淵良太さん(34歳)
大登地区在住

2009年、24歳のときに三島町へ移住。一緒に来た美穂子さんと結婚し、現在は2人のお子さまと家族4人で暮らしています。佐久間建設の森林事業部に勤めながら、NPO法人会津三島エネルギー研究会の理事長としても活動されています。



『積み重ねてきた10年』



「三島町に移住したいきさつ」
2009年の4月23日にこちらへ来たので、10年経ちました。翌日に「栃の王国」というイベントがあり、そこで皆さんと顔見知りになったのを今でもよく覚えています。

20歳の頃にカナダの農村部をホームステイしながら旅し、自分たちで暮らすことは自分たちです。という暮らしに強く感銘を受けました。自分も日本でそういう暮らしをしたいと思い、移住地を探し、三島町へとやってきました。

「お仕事について」
ものづくりは全くの素人でしたが、作ることは好きだったのだと、こちらに来てわかったように思います。木を伐り、加工し、製品にする。この10年で技術的にずいぶん進歩しましたが、それ以上に思考の面で大きく影響を受けました。今までは焼き物の器を見ても何も思いませんでしたが、今ほどここで誰が作ったのか知りたくなりました。そういう思考の変化をもたらした10年間でした。農産物は産直というのが当たり前になりつつありますが、木工品に関してはまだまだ現場と使い手が見えにくいように思います。ここで木の産直

を目指しながら、これがどの木で、だれが作ったものなのかというストーリーを伝えていくのが自分の使命だと思っています。ものづくりはどこでもできるけれど、ここにいると木を取り巻く環境、すべての過程に関わることができ、それがいいと思っています。

「住まいについて」
当初は空き家を借りて住んでいましたが、5年目に別の空き家を取得しました。町の空き家改修補助金を使い、屋根や水回りなどは業者にお任せし、あとは自分たちで手をかけながら、少しずつ住みやすい家になっています。この家は三島に来て培った知識と技術と経験が注ぎ込まれている作品、10年分の集大成と呼べるかもしれません。10年経つてようやくここまで出来るようになったと思っています。「暖かくて、快適で、オリジナルな家」がテーマで、薪ストーブも入っており、室内は冬でも23℃はあります。

「子育てについて」
子どもにとって今の環境がいいのか悪いのか、それは本人に聞いてみないとわからないですが、子どもにとっていいと思う環境を整えています。

「三島町のよいところ」
自然の景観、四季の移り変わりというのは身体にいいだけでなく、心のゆとりにもつながります。そして、ここには人の豊かさがあります。三島町に集まる人はふるいにかけて残ったコアな人々。そういった人たちと話ができるのは何よりです。10年前にはわからなかった話も今では分かるようになりました。仕事をはじめ関わった人たちから、もの考え方を学び、今の自分があると思っています。

協力隊コーナー Vol. 4

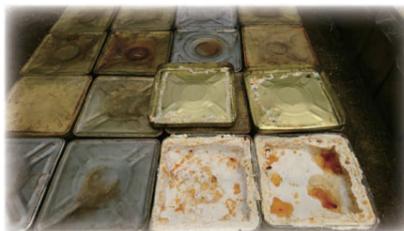
山口 泰市郎さん

地域おこし協力隊（農業振興担当）2年目の山口泰市郎です。桐の里産業株式会社の業務に従事しています。今月は私が担当させていただきます。

メインの仕事である田植えも終わり、少し心にゆとりが・・・ひと息ついているところです。今年は前年よりも人員が少ない状況の中、水稲とエゴマを中心に、菌床ヒラタケと作付が難しい水田の保安全管理のための草刈りをしています。地元の方がいないので、町外から来たメンバーですが、自分たちで考えながら仕事を進めています。

業務の他にも、叔母の畑の手伝いもしています。今年は天候があまりよくないですが、順調に育っています。えだまめ、とうもろこし、なす、きゅうり、トマトなど、いっぱい育つのは楽しいです。

これからは暑い中の草刈りが続きますが、熱中症に気を付けながら、日々頑張ります。分からないことばかりですが、町民のみなさんにご指導や激励をいただきながら、去年よりいいものを作りたいと思っていますので、よろしくお願いたします。





秦副町長より賀寿を贈呈される佐々木マキさん

100歳おめでとうございます 佐々木マキさん（桧原）百歳賀寿贈呈式

7月26日、100歳の誕生日を迎えられた佐々木マキさん（桧原）の百歳賀寿贈呈式が自宅で行われ、県と町からお祝い状と記念品が贈呈されました。

マキさんの長寿の秘訣は「好き嫌いなく食べる事と畑仕事で体を動かしていた事」と、ご家族がお話しされていました。

全力で自己ベストを目指す 両沼西部三町村小学校水泳記録会

7月24日、三島町・金山町・昭和村三町村合同の小学校水泳記録会が金山小学校プールにおいて行われ、3町村から30人が参加しました。三島小の児童たちは日頃の練習の成果を存分に発揮し「6年男子50m自由形」「混合200mフリーリレー」「混合100mメドレーリレー」の3種目で新記録を達成する活躍を見せました。



最後まで全力を尽くしました

地域で犯罪や非行のない社会へ 「社会を明るくする運動」強調月間

7月の「社会を明るくする運動」強調月間に合わせ、同運動町推進委員会では、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築くことを目的に、町内において、さまざまな取り組みを実施しました。

①7月1日、会津宮下駅前において社会を明るくする運動街頭指導を行いました。推進委員10人が参加し、只見線利用者等に同運動の啓発グッズなどを配布し、一人ひとりに呼びかけを行いました。

②7月9日、啓発パレードを行いました。推進委員10人が参加し、町民センター前で出発式を行った後、啓発放送を流しながら町内全地区を巡回したほか、三島小・中学校を訪問し、いじめや非行の防止について情報交換を行い、犯罪や非行のない地域づくりへの協力を呼びかけました。

③7月25日、宮下地区の宮昌寺で早朝座談会が行われました。犯罪予防のための家庭、地域づくりを目的に開催され、親子連れなど17人が参加しました。最初にラジオ体操を行い、気持ちよい朝の陽ざしを浴びながら体を動かしました。その後、参加者の皆さんは遠藤弘佳和尚の説法を、座禅を組みながら心静かに聞いていました。



只見線利用者等に呼びかけを行う推進委員の皆さん



町内全地区をパレードし啓蒙・啓発活動を行いました



遠藤住職の説法を聞く参加者の皆さん

工事の安全と地区の発展を願って 大石田集会所新築工事安全祈願祭

7月11日、大石田集会所新築工事安全祈願祭が行われました。施工者である佐久間建設工業株式会社の主催のもと、町関係者、町議会議員、大石田区長、地区役員の方々など約50人が出席しました。青木基重宮司による祝詞奏上の後、矢澤源成町長が鍬入れを行い工事の安全を願いました。新たな集会所は木造平屋建て延床面積が203㎡となり、今年12月の完成を予定しています。



「鍬入れ」を行う矢澤町長



矢澤町長より表彰を受ける五十嵐敏大石田第一納税貯蓄組合長

優良納税貯蓄組合などを表彰 令和元年度三島町納税貯蓄組合連合会総会

令和元年度三島町納税貯蓄組合連合会総会が7月12日、町民センターにおいて行われ、会員約10人が出席しました。総会に先立ち、10年以上町税納付に協力され、特に優良と認められた納税貯蓄組合などに矢澤源成町長から表彰状が手渡されました。総会では平成30年度事業報告と会計決算、令和元年度事業計画と会計予算が全会一致により承認されました。

1,000人を超える来場者を魅了 星賢孝写真展 奥会津只見線「四季彩々」

6月1日から6月30日まで、交流センター山びこにおいて星賢孝さんの写真展 奥会津只見線「四季彩々」が開催されました。星さんは長年に渡り只見線を撮り続けており、四季を通じてさまざまな表情を見せる美しい只見線の写真は、来場された方々を魅了しました。期間中は多くの来場者が訪れ、1,000人目の来場者は柳津町の長坂百合子ちゃんとなり、星さんから写真集とポストカードが贈呈されました。



1,000人目の来場者となった長坂百合子ちゃん(写真中央)



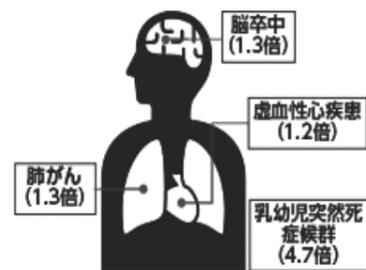
願いが込められた短冊

短冊に願いを込めて 三島保育所七夕まつり

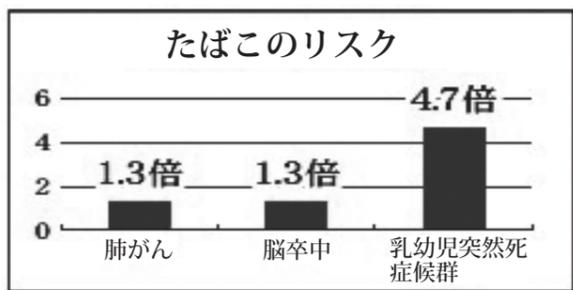
7月5日、三島保育所において七夕まつりが行われました。保育所の子もたちが、「お友達と仲良く過ごせますように」「家族が元気に過ごせますように」「仮面ライダーになりたい」などのさまざまな願い事を短冊に書き、笹の葉に吊りました。当日は三島小学校の1、2年生やワンダークラブの子ども達も参加し、賑やかで楽しい七夕まつりになりました。

健康増進法の改正に基づき、望まない受動喫煙防止対策として、令和元年7月1日より公共施設の敷地内が禁煙となり、これに伴い役場庁舎敷地内も原則禁煙となりました。(加熱式タバコも含む) 屋外の受動喫煙を防止するために必要な措置がとられた場所に限り喫煙可能となっています。

喫煙可能場所には右の標識が掲示されています。望まない受動喫煙を防止するため、指定された場所以外での喫煙は控えていただくよう、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



※タバコに含まれる有害物質や発がん物質は、あなたの健康だけでなく家族や友人、職場の同僚などあなたの大切な人の健康も奪います。



受動喫煙を受けている方の「罹患リスク」は高い。

年間1万5千人が受動喫煙を受けなければ、上記の疾患で死亡せずに済んだと推計されます。

あなたの息は大丈夫？

喫煙後30分間は息からニコチンなどの有害物質が出ています。喫煙者が吐き出した息(呼出煙)を吸うことも受動喫煙になります。



タバコ病～COPD～から身体を守る！

COPD(慢性閉塞性肺疾患)とは、主に長期間にわたる喫煙が原因で肺に炎症が起こり、肺の中の空気の流れが悪くなる病気です。症状が悪化すると睡眠障害・うつ病・認知症・肺がん・糖尿病・心臓血管疾患・骨粗鬆症等を発症しやすくなります。COPDは世界の死亡原因の第3位にランクされている病気で、今後も増加が見込まれています。下記に心当たりがある方はCOPDの可能性が・・・長期間の喫煙歴があり、息切れや慢性的な咳・痰が続く等の症状。 ※早めの受診をお勧めします

「ゆめぽけっと」より 図書のご紹介

『たゆたえども沈まず』 作：原田 マハ

売れない天才画家のゴッホは、放浪の末パリにいる画商の弟・テオの家に転がり込む。テオは、兄の才能を信じ献身的に支え続ける。ある日、二人の前に商才溢れる日本人画商・林忠正が現れ、二人の運命は大きく動き出す。2018年本屋大賞ノミネート作品です。



図書コーナー『ゆめぽけっと』利用時間 月～金 午前9時～午後9時 土・日・祝 午前9時～午後5時 ※年末年始は閉館いたします。 ☎ 公民館 ☎ (48) 5599

『しんごうきピコリ』 作・絵：ザ・キャビンカンパニー

あおはすすめ。きいろは注意。あかは止まれ。って、あれ!? なんだか見たことのない色になっちゃった! 車はいったい、どうしたらいいのでしょうか? 鮮やかな色づかいと奇想天外な発想で大人気の作品です。



Table with 2 columns: Title (題名) and Author (著者). Rows include '鉱物キャラクター図鑑' (Ifumi Takahashi), '平場の月' (Asahi Kasumi), 'シーソーモンスター' (Ikeda Koutaro), and '腐女医の医者道～外科医でオタクで3人子育て大変だ～' (Satahara).

●新着本●

地区住民による大林公園内の刈り払い作業

文・写真 本名与四郎さん(西方)



7月13日、地区住民による「大林公園刈り払い作業」が行われました。27名が草刈り機を持参し、小松豊区長の挨拶のあと、作業を開始しました。今年は雨の日が続いたこともあり草木が青々と高く生い茂り、草刈機のエンジン音を唸らせながらの作業となりました。1時間30分ほどの作業で、大林公園内の草木は見違えるほど刈り取られ、美しい山となりました。

西方地区も高齢化が進み世代交代をして親から子へと引き継ぎをして作業に参加する姿も見られました。草刈り機がなかった時代から守り続けている大林の山を住民の熱き想いと絆で次の世代へとバトンを渡して、ふるさとを守る事の大切さを感じた作業でした。

土用のおこもり

文・写真 佐久間絹江さん(滝原)

土用入りを翌日に控えた7月19日、滝原地区の駒形神社において、土用のおこもりが行われました。板橋文一区长、駒形神社総代など、地区の方々が集まり、梅雨明けから暑くなる日々を健やかに過ごせるよう神々に祈り、御神酒を酌み交わしながら歓談しました。昔は夜通し行っていたおこもりですが、現在は様々な事情により、短時間で終わっています。この日のために、定期的な清掃や人足での参道整備を行い駒形神社の景観を守っています。



地区委員による国道400号刈り払い作業

文・写真 本名与四郎さん(西方)



国道400号線を中心とした刈り払い作業は、7月17日から20日までの4日間行われました。地区委員10名により、早朝からの作業となりました。17日から19日までは2時間程度の作業となり、20日はふう坂の遊歩道の刈り払い作業を行い、フェンスに蔓が幾重にも絡み合っていたため、午前中いっぱいかかって作業を終了しました。

お盆休みにかけて帰省客が多く往来する国道400号はスッキリとなりました。三島町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しており、住民が地区の景観を保つことにより、その一端を担うことができたものと思います。

広報みしま 皆さんからの情報提供をお待ちしています

「広報みしま」は、皆さんに親しまれる広報誌を目指して編集しています。町からのお知らせを分かりやすく伝えることはもちろん、町民の皆さんの顔、声を掲載することが最も大切と考えています。「広報みしま」は、町民の皆さんのための広報誌です。いつでも情報をお待ちしています。

役場 特命担当課 ☎ (48) 5232

明治二十年（一八八七）、西方村に生まれた山内為之輔氏は、東京帝国大学英文科を卒業、中学校教諭を勤めたあと軍の召集に応じ、輸卒隊に入ります。その後、ふたび中学校教諭となり、大正十三年（一九二四）には豊山大学講師、十五年には大正大学教授となり学生たちを指導します。

昭和に入ってから大学で教鞭をとりつつ、生まれ育った郷土の研究に熱を入れはじめ、昭和四十一年（一九六六）に没するまで多くの著作を遺しました。今回紹介するのは彼が昭和九年（一九三四）八月に著し、十二年に簡易印刷された『会津戊辰役西方村の戦』です。氏によれば、西方村で会津軍（旧幕府側）、官軍（新政府側）の戦闘が発生したのは慶応四年（一八六八）九月一日のこと、会津軍は当初、柿平に台場を築き野沢街道から来る官軍と対峙したといわれますが、両軍の戦力差は大きかったようで、劣勢の会津軍は舟場から只見川の東岸に退却したようです。官軍は柏木山や西隆寺の

裏山に陣取ったともいわれています。その後、会津軍は沼田・羽黒神社の向かい側（松原村の馬場平か）から、官軍は館の内から互いに砲撃を行ったといわれています。松原村の竹林や、岩倉山の岩に弾丸が当たる音が村人の耳に届いたそうです。氏が幼少の頃は屋根を葺き替える際には必ず十個位の鉛の一つ丸が見つかり、他にも崖にある大木や、畑の中からも発見できたといわれています。また会津軍はチョンマゲ・羽織袴に脚絆草鞋（きんぱんわらじ）の対し、官軍は洋服に一本差しと鉄砲、そして散髪だったことなども古老から聞いています。

この戦いで両軍あわせて少なくとも十数名が命を落としており、会津軍の小櫃與三郎なる人物が西方村の中央あたりで官軍相手と戦いつつ稲荷原を通って名入村まで退き名主の家の前で倒れた、というように、幾人かはどこで倒れ、亡骸がどのように葬られたかまで伝わっています。このような激しい戦いが起った時、村人はどうしていたのかというと、その多くが村から少し離れた田口沢

（タゲチ）、数珠が沢（ズズガサ）、くつそ（クツソ）等に家財を運び、身を隠したそうです。ただ両軍の人手として働かされた者もいたといわれています。また、西方村が官軍に占領された時、村下の一農家が占領を知らせる合図として焼かれたとも伝わっています。

執筆当時、すでに戊辰戦争から七十年近く経過しており、また本書は伝聞だけでなく、氏の推測も混じっています。そのため、そのまますべてが真実であるとはいえませんが、西方村で起こった戦を書き遺した貴重な冊子です。

※会津軍、官軍という表記は『会津戊辰役西方村の戦』に準拠しました。文 三島町史編さん室



「西方村の戦」関連地名略図（地図は現代のもの）

ご家庭に古い文書などがございましたら、交流センター山びこまでご連絡ください。☎(52) 2165

県立宮下病院から

愛ばんしょ外来のお知らせ

「みしま健康ポイント」の対象です！



宮下病院では、毎週木曜日「愛ばんしょ外来」（在宅療養生活支援外来）を開設しています。

病气や障がいを抱えて家で生活する方や、家族からの介護や生活についての相談窓口

地域に住む方々が気軽に立ち寄れる交流場所の提供

地域に住む方々の健康維持・増進、介護・疾病予防のための支援

上記を目的に看護師・薬剤師・管理栄養士・リハビリスタッフが皆様の在宅生活のためのお手伝いをさせていただきます。

※費用は無料、予約不要です。どなたでも参加できますのでお気軽にお越しください。

月 日	内 容	講 師
8月8日(木)	・相談コーナー ・健康教室「脱水症とは」	看護師
8月15日(木)	・相談コーナー ・健康教室「夏バテ予防について」	栄養士
8月22日(木)	・相談コーナー ・健康教室「脱水症とは」	看護師

○時 間 相談コーナー：①午前9時～正午 ②午後1～午後4時 健康教室：午前10時30分～午前11時

○会 場 宮下病院 外来待合室

新人看護師のつぶやき

看護師 星 樹里

暑い日が続いておりますが皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年度より新規採用職員として宮下病院に配属されました、看護師の星と申します。私は今年、学校を卒業し、現在は優しい先輩方に病院業務の基本についてご指導いただきながら日々頑張っています。

宮下病院で働き、そして三島町に住んで約4ヶ

月が経ちました。奥会津はとても自然が美しく、温泉もありとても過ごしやすい地域だと思いました。

また、時々地域の方と一緒に卓球をしています。私も卓球経験者ですが、練習試合では負けてしまうくらいパワフルな方々ばかりです。

そんな元気な地域の皆さんに寄り添って医療を提供しているのが宮下病院です。私はまだまだ未熟ですが、病院で一緒に働く先輩方のように地域の皆さんに寄り添った看護をしていきますので、これからもどうぞよろしくお願ひします。

ポリテクセンター会津から

訓練生募集のお知らせ

施設見学会を開催します

- 募集期間 8月19日(月)～9月18日(水)
- 募集科名 住宅リフォーム技術科
- 募集定員 15名
- 訓練期間 令和元年10月1日～令和2年3月31日
- 対象者 ハローワークに求職登録されている方で職業訓練の受講が望ましいと判断された方
- 受講料 無 料
- 選考日 9月20日(金) 午前9時～

- 実施日 8月5日(月)・7日(水)・19日(月)・21日(水)・26日(月)・28日(水)
- 時 間 午後1時30分から午後3時45分
- 内 容 今までのキャリアにプラスして新たな技能習得のための職業訓練について理解していただく見学会です。最寄りのハローワークからお申込みください

◇訓練生募集・施設見学会に関するお問い合わせ先 / ポリテクセンター会津 訓練課 ☎0242 (26) 0520



会津坂下警察署からのお知らせ

なりすまし詐欺の被害状況

令和元年6月末の被害認知状況(県内)
 被害件数 47件 (前年比-18件)
 実質的被害額 8,904万円 (前年比-451万円)
 内訳(被害金額順)
 オレオレ詐欺 24件 977万円
 架空請求詐欺 13件 3,062万円
 融資保証金詐欺 2件 213万円
 還付金等詐欺 3件 799万円



カクニンジャー福くん

カードが悪用されているとの電話に注意!

警察官や金融庁職員をかたる者から「あなたのキャッシュカードが悪用されています。」との電話がかかってきた後、職員を装った者が自宅を訪問し、キャッシュカードを封筒に入れるように指示され、目を離した隙に別のカードが入った封筒とすり替えられ、現金を引き出される被害が発生しています。

※警察官や金融庁職員をかたる電話がかかってきたら一端電話を切り、家族や警察に相談しましょう!

☎会津坂下警察署 生活安全係 ☎0242(83)3451

街頭犯罪発生件数(6月30日現在)

区分	管内	三島町
空き巣	1	
事務所荒し	3	
自販機ねらい	5	
車上ねらい	1	1
強制わいせつ	1	
街頭犯罪合計	11	1
その他刑法犯等	27	5
全刑法犯	38	6

特徴: 昨年6月から7月にかけて、器物損壊が多く発生しました。また、5月から6月は野荒らしが多く発生しています。

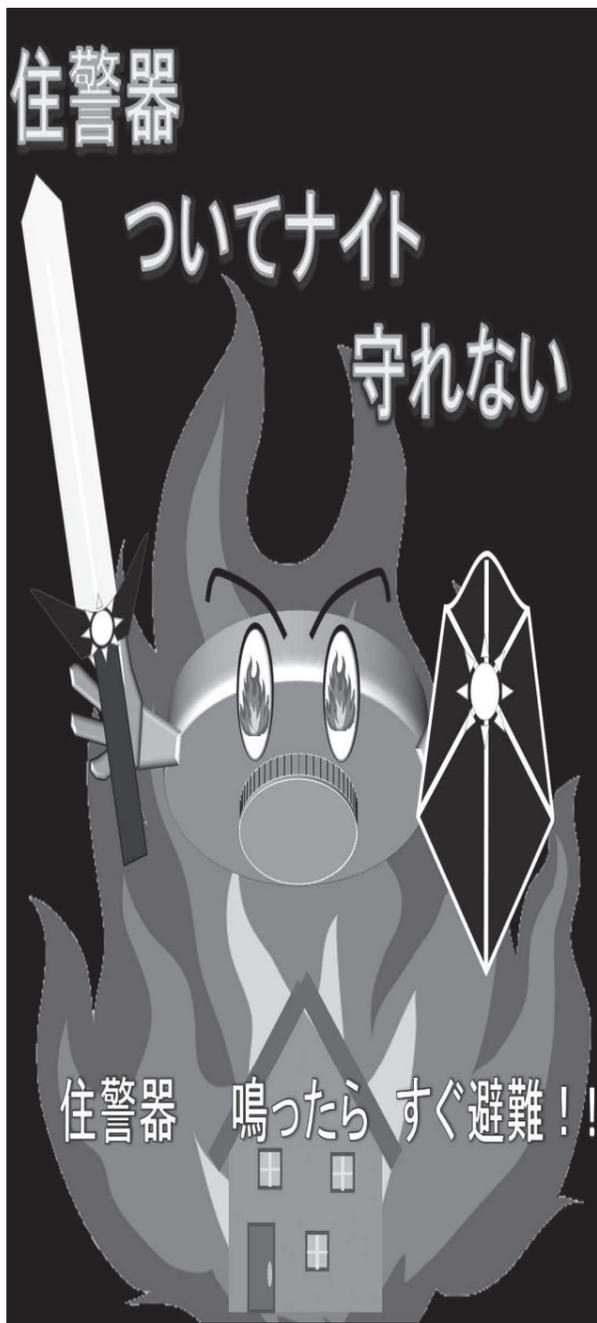
その他刑法犯等には、暴行・傷害・万引き・詐欺・器物損壊などの犯罪発生件数が含まれます。※上記発生件数は、平成31年1月1日からの累計数となっています。



消防署からのお知らせ

住宅用火災警報器の点検をお願いします

住宅用火災報知器のバッテリー交換期限の目安はおおむね**10年**です。電池切れなどで火災を感知しなくなることがあるため、各自点検をお願いいたします!



☎会津坂下消防署 三島出張所

一火事・救急・救助は— 電話 (52) 3032
 119番まで FAX (52) 3033

環境研だより 第13回「環境という言葉とくらし」



しぶしぶくん

三島町のみなさま、こんにちは。みなさまのおかげで、連載を開始して一年が経過しました。本当にありがとうございます。

令和に元号が改まって4回目となる今回は、「環境」という考え方が私たちの「くらし」とどのように関係しているのかについて考えてみたいと思います。

「環境」という言葉は、1960~70年代に社会問題となった公害とともに一般に広まりました。現在では、「ある注目している対象(個人や社会など)の周囲にあるものすべて」という意味合いで、何かと便利に使われがちですが、本来「環境」には物事だけでなく、それら物事同士の「つながり」も含まれています。「風が吹けば桶屋が儲かる」ということわざがありますが、ある環境の変化が周囲とその後どのように関係し、影響が広がっていくのかをすべて把握することはなかなかできません。



「木の駅事業」で集められた材(宮下地区上ノ原の土場にて撮影)

森林環境を例に挙げて考えてみましょう。例えば、地区内の危険な支障木の伐採や、健全な木の育成のための間伐を進めると、本来の目的に加えて、観光客にも魅力的な景観や、獣が集落に近づきにくくなる緩衝地帯の形成といった効果も期待できるかもしれません。しかし、急傾斜地はもちろん、それほど急でもないところでも、伐採した木を山にそのまま放置すると大雨の際に流れ出し、新たな災害の原因となる可能性もあるため、伐採する際は山からの出し方や、その後の使い道まであらかじめ考えておく必要があるでしょう。昨年からはじめた「木の駅事業」に対しても、地区座談会にて「伐採して集めた木で作る薪をどのように活用するのか」などの意見が出されています(『広報みしま』2019年4月号「地区座談会報告」)。

例えば、ある人(ここでは「わたし」とします)にとっての森林環境は、「わたし」の家の裏にある小さな林だけを意味するとして、しかし、実際はその林は周囲の山とも密接な「つながり」を持っていて、災害や景観や生物、さらには外部の社会とも結びつきながら身近な「くらし」と関わっているのです。



「わたし」の森林環境と「くらし」とのかかわり

私たちは、どうしても自分の周りのことだけに目がいきがちですが、自分たちの行動が更に外側の環境にも影響を与え、それらがめぐるめぐって最終的に自分の周囲の環境と「くらし」にも影響を与えるということ意識しながら、三島町でも取り組みを進めていければと思います。三島町の森林だけを見ても、これから調べたり学んだりしなければならないことがたくさんあり、その一つ一つをその分野に詳しい他の大学と共同で研究することで、森林を取り巻く「環境」全体がどのような「つながり」になっているかを調べていく予定です。そのためにも、地元の人でなければ気づかない、現場で仕事をしなければ分からない数多くのことを、町民の皆さまから教えていただきたいと考えていますので、ぜひよろしくお願いたします。

最後に、今年も弊所と三島町共催の出前講座・町民講座を開催いたします。いつもより時期を早めて、秋を予定しています。テーマは森林と災害の防止を予定しています。決まりましたら順次お知らせいたします。

<筆者紹介>

大場 真(おおば まこと)

宮城県生まれです。森林や生物の研究をしています。先日ふるさと荘に宿泊した際に自前の望遠鏡で天体観測を行いました。



☎国立環境研究所福島支部

地域環境創生研究室 ☎0247(61)6572

令和元年度 自衛官募集案内

採用種目	資格	受付期間	試験	日時	試験会場	備考
自衛官候補生 (男子)	18歳～ 33歳未満	随時	筆記試験	9月21日④午後	会津大学	筆記試験・口述試験・身体検査の両方を受験します。
			口述試験 身体検査	9月29日⑤	郡山駐屯地	
自衛官候補生 (女子)	18歳～ 33歳未満	随時	筆記試験	9月21日④午後	会津大学	
			口述試験 身体検査	9月28日④	郡山駐屯地	
一般曹候補生	18歳～ 33歳未満	7月1日⑥～ 9月6日⑦	1次試験 (筆記)	9月21日④午前	会津大学	1次試験合格者の2次試験(口述試験・身体検査)については、後日通知します。
			2次試験 (口述試験・ 身体検査)	10月13日⑧～ 10月15日⑨ ※指定する1日	郡山駐屯地	
航空学生	海：18歳～ 23歳未満 空：18歳～ 21歳未満	7月1日⑥～ 9月6日⑦	1次試験 (筆記)	9月16日⑥	郡山駐屯地	

※試験日程は上記のようになっております。詳細は担当の広報官にお尋ねください(受験料はすべて無料です)

④自衛隊福島地方協力本部会津若松出張所 会津若松市門田町大字黒岩字大坪 57-1 ☎0242(27)6724

会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部 消防職員募集案内

来年採用予定の消防職員を募集します。

1. 採用職種及び採用予定人数

試験職種および 採用人数	職務内容
消防職員 (8名程度)	消防署等において、警防、予防、救急等の業務に従事します。男女とも原則として深夜業を含む交替制勤務です(6ヵ月間の消防学校研修後、各所属に配属されます)。

2. 受検資格

高校卒業程度の学力を有する方で、平成4年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた者
身体の基準は、身体強健な者とする。

3. 試験申込書の請求

消防本部・消防署・分署・出張所・市町村役場で
交付します。
なお、消防本部のホームページ(アドレス <http://www.119-aizu.jp>)から受験案内および試験申込書をダウンロードすることができます。

4. 郵送を希望する場合

封筒の表に「採用試験用紙請求」と朱書きし、120円分の切手を貼った宛先明記の返信用封筒(A4半大)を必ず同封して、会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部総務課(〒965-0131 会津若松市北会津町中荒井字諏訪前11)へ郵送してください。

5. 受付期間

令和元年7月17日⑧～令和元年8月16日⑨
(勤務時間中(午前8時30分～午後5時15分)に限ります)
ただし、土曜日、日曜日及び祝日は除きます。
郵便による申込書提出の場合は、令和元年8月14日⑩の消印があるものまで受け付けます。

6. 第1次試験

とき 令和元年9月22日⑪
ところ 教養試験 会津大学
体力試験 会津大学体育館

⑪会津若松地方広域市町村圏整備組合 総務課 ☎0242(59)1400

全国一斉「子ども人権110番」強化週間の実施について

法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会は、8月29日から9月4日までの7日間、全国一斉「子ども人権110番」強化週間として、いじめや嫌がらせ、虐待、体罰など子どもの抱える人権問題について電話相談を実施します。相談は、人権擁護委員及び法務局職員が応じます。秘密は守られますので、お気軽にご相談ください。

なお、強化週間期間以外の日(土・日・祝日を除く)においても、午前8時30分から午後5時15分まで相談に応じていますので、ご利用ください。

期間 令和元年8月29日⑫から9月4日⑬までの7日間
時間 午前8時30分から午後7時まで

※ただし、8月31日⑭・9月1日⑮は午前10時から午後5時まで

電話番号 0120(007)110(フリーダイヤル)

⑫福島地方法務局 人権擁護課 ☎0245(34)1994

町からのお知らせ

【納期限】9月2日

▼町県民税【普通徴収】(第2期)

▼後期高齢者保険料【普通徴収】(第1期)

⑯町民課町民係 ☎(48)5555

忘れずにお納めください

社会福祉協議会より

サロンのご案内

▼滝谷和楽塾

8月6日⑯10時～ 滝谷集会所

▼大登サロン

8月6日⑯13時30分～ 大登生活改善センター

▼松原はつらつクラブ

8月9日⑰10時～ 松原集会所

▼間方いきいきクラブ

8月20日⑱10時～ 間方集会所

▼浅岐あつたかサロン

8月20日⑱10時～ 浅岐集会所

▼高清水・小山いきいきサロン

8月23日⑲10時～ 高清水集会所

▼大石田友遊サロン

8月26日⑳10時～ 大石田生活改善センター

▼川井友愛サロン

9月2日㉑10時～ 川井集会所

▼大登サロン

9月2日㉑13時30分～ 大登生活改善センター

▼ひまわりサロン

9月3日㉒10時～ 町民センター大ホール

⑰社会福祉協議会 ☎(52)3344

町の人口と世帯

7月1日現在

人口	1,623	-2	出生	0
男	802	0	死亡	1
女	821	-2	転入	2
世帯	769	-1	転出	3

⑱住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1ヵ月間に届出のあった人数です。

お悔み申し上げます

菅家清二(82才・桑原)
阿部次男(70才・松原)
横田義美(91才・高清水)
齋藤久男(93才・宮下)

※掲載を希望される方もされない方も、各種手続き時に『広報みしま掲載同意書』に記載事項を記入していただきます。ご協力をお願いいたします。
⑲特命担当課 ☎(48)5232

ご寄附ありがとうございました

町社会福祉協議会へのご寄附
(ご遺志によるもの)

菅家一光様(桑原)
二瓶仁志様(西方)
横田ミチヨ様(高清水)
齋藤茂幸様(宮下)

「撮」っておきのみしま町

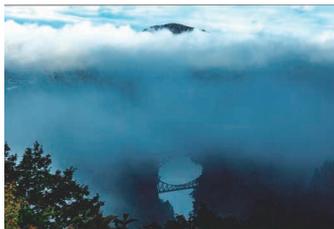
フォトコンテスト入賞作品



【三島町長賞】「いってきまーす!!」佐藤賢一さん(宮下) 兄妹そろって今日も元気にいってきまーす。



【教育長賞】
「時雨るるや」
橋本光五郎さん(早戸)



【写団道奥21会長賞】
「荘厳」
松木リツ子さん(郡山市)



【交流センター山びこ賞】
「お手伝い」
二瓶朋子さん(間方)



【交流センター山びこ賞】
「戮力協心」
舟木孝治さん(宮下)

第9回「撮」っておきのみしま町フォトコンテストの審査が行われ、三島町長賞など入賞作品5点が選ばれました。コンテストには53人から125点の応募がありました。作品は交流センター山びこで9月23日まで展示されます。 ※来場者による投票で決定する「特別賞」は10月中旬に発表します。

☎ 交流センター山びこ (52) 2165

町長日記 (チーム三島の方向は)

No. 49

各集落でサイノカミや虫送り・虫供養・雛流し等が実施されています。これらの「三島の年中行事」は集落の人々と自然の関係性による長い蓄積の中から生み出されたものであると考えられています。それらの伝統行事は「人間が意図」して創り出したものではないと考えています。

私の集落では春と秋になると「山の神」が行われていきます。山の神様にお酒や肴を供えお参りし、その後、集落の皆さんが輪になって、そのお供え物を互いに皆にふるまいます。一年の山仕事の無事を祈ります。そこに特別な「教義」はなく「理」や「知」で考えるものではないのです。

しかし、その様な長年の営みが、集落の精神文化を形成していくものであると感じています。集落は自然と人、そして人と人との関係性が集落の文化を創り出してきたのだと確信しています。

私は、三島の未来は「過去」にあると言ってきましたが、「過去」に戻るといふ事では

なく現在の問題意識から見えてくる伝統文化や地域の人と人の関係性や人々の暮らしについて「過去」からそのヒントを学ぶことが未来を創造することに非常に重要な事だと考えているからであります。

昨今の新聞報道や経済専門誌を読むとイノベーションという言葉をよく目にします。従来の習慣や慣行、伝統を破壊する、創造的破壊という言葉があるのですが、この方向性が地域の将来や日本、ひいては世界の将来にとって自然と共生して行かなければならない人類にとって確かな道であるとは、感じ取ることができないのであります。

第5次振興計画樹立の大変重要な年になります。チーム三島役場は目的や理念達成のためにある組織です。すべての価値判断基準は目的や理念に依りてなされるものです。理念は将来の価値観を示すものであり、抽象的で概念的でもありますが、具体的に事業内容を表現し町人の皆さんの「幸」を感じ取れるものになりたいと考えます。

三島町長 矢澤 源成